

役員所感

専務理事 保坂 憲彦

【基本方針】

我々は何のために青年会議所に所属し、活動をしているのか。3信条である奉仕の精神を育み、修練による自身の成長を通じて、真の友情を築くことは入会して早い時期に教わる。さらに地域社会へ貢献する為の知識を高め、実践する勇氣と行動力を身に着けることによって公益の増進に寄与することが出来るのだが、はたして活動意義として本当に理解されているだろうか。それを原動力として発奮出来ているだろうか。今一度、活動意義を確立させ、自身とJCの存在価値を認識するべきである。

厳しい経済情勢が続き、社会風潮も変わり行く中で日々対応が要求される現実がある。地域をと言う前に生業を先ずは何とかなければならぬ。経営を安定させることに奔走し余裕がない状態で友情はともかく、奉仕、修練と言われても虚しく聞こえてしまっているのではないだろうか。入会の動機で多く聞く理由としては仲間づくりがある。確かに経営者や経営者に準ずる者は孤独と不安を抱えている。こころ通じる仲間を欲しがるのは当然かもしれない。だからこそJCでは一生涯付き合える友を追求したい。しかし仲間と気持ちが通じ合うことが実感できなければ、真の友が出来たとは言えない。先述の状況下で、なお自身を奮い立たせるものを互いに信念として持つことが出来れば、共に活動意欲を高めることが叶うだろう。それがJCI クリードの後段にある「人生最善の仕事は人類への奉仕」ではないかと思う。この社会で生きている以上、誰かの役に立たなくてはならない。JC活動を通じて切磋琢磨し、自己を成長させ地域社会でより多くの人々に役立つ実践が求められる。そしてその期待に応えられる人財を送り出せることがJCの存在価値であり、魅力なのだ。

上越JCは今年度、公益社団法人に移行する。会運営において例年通り行かないこともあると思う。だが人の役に立とうと想う奉仕のプリンシプルを共有し、より連帯感を高めた組織を目指し、運営に邁進する覚悟である。皆で若者らしく元気を出し、地域社会を明るくさせることを使命にJAYCEEとして最善の仕事に取り組みたい。